

「2025年に向けた対応方針」 相模原構想区域内医療機関の状況

資料 1

医療機関名 開設者	現状【病床種別】						変更後【病床種別】						現状【病床機能】①						2025年予定【病床機能】② 下段は現状との差(②-①)						2025年に向けた方針(抜粋)		
	一般 病床	療養 病床	精神 病床	結核 病床	感染 症病 床	計	一般 病床	療養 病床	精神 病床	結核 病床	感染 症病 床	計	高 度急 性期	急 性期	回 復期	慢 性期	休 棟中	計	高 度急 性期	急 性期	回 復期	慢 性期	休 棟	介 護医 療院 等	計	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、機能の変更、見直し等の予定、その他
さがみ生協病院	許可 病床	20				20	許可 病床	15				15		20				20		15					15	急性期病床に求められる医療提供が困難であること、近年の眼科手術技術の進歩により、入院期間の短期化が進み病床機能を保持することが見合わないこと等により病院から診療所への転換を図る。 一方、眼科手術の対象者は高齢者が多く入院機能を保持し、地域医療に貢献するため、5床を減少し15床の病床を保持した有床診療所とする。	
神奈川県中央医療生活協同組合	稼働 病床	20				20	稼働 病床	15				15		20				20	-	△5					△5		
晃友脳神経外科眼科病院	許可 病床	59				59	許可 病床	105				105	37	22				59	37	68					105	回復期病床46床の増床も決定しており、晃友脳神経外科眼科病院・晃友内科整形外科を統合することで、受入ができていなかった患者の受入対応が可能となります。 また、法人内連携を強化することで医療・介護分野におけるシームレスな対応が向上することが推測されます。 上記のことを実現することでより地域患者の受入強化を図り、地域包括ケアシステムの根幹を担う医療機関を目指したいと考えます。 予定時期は2025年10月頃を想定。	
晃友会	稼働 病床	59				59	稼働 病床	105				105	37	22				59	-	-	+46				+46		
医療法人 相愛会 相愛病院	許可 病床	202				202	許可 病床	122				122		202	0			202					122	80	202	療養病床202床のうち、80床を介護医療院へ転換する。	
医療法人 相愛会	稼働 病床	202				202	稼働 病床	122				122		202				202	-	-	-	△80	-	+80	-		

民間病院の2025年に向けた対応方針一覧

- 本件は、旧東芝林間病院の運営が東芝健康保険組合から医療法人ユーカリ(旧医療法人武蔵野総合病院)に承継され、新たに「さがみ林間病院」として2025プランが提出されたため、協議いただくもの。  
 なお、病院の承継については、令和4年度第2回相模原地域地域医療構想調整会議にて協議し、令和4年度第2回医療審議会です承済み。
- また、2023年内に、急性期の病床のうち、さらに30床を地ケア病床としての運用を希望していることから、併せて協議いただくもの。

医療機関名	病床種別						現状(病床機能)①					指定・届出等				2025年(病床機能)② ※下段は現状との差(②-①)					2025年に向けた方針		機能変更あり(時期)	過剰な病床機能への転換	増床希望あり						
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床(病床)	リハビリテーション病床	回復期	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟	介護医療院	計	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定
医療法人ユーカリ さがみ林間病院	許可 病床	199					199	159	40		199	○	○	○						159	40				199	199	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東芝林間病院から承継した既存の21診療科及び病床機能を維持</li> <li>○2023年内に、急性期の病床のうち、さらに30床を地ケア病床として運用したい</li> </ul>	-	-	○	
医療法人ユーカリ	稼働 病床	199					199	159	40		199	告示・ 輪番			急性期 30 ↓ 60	40				-	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の病床機能(急性期159床、回復期40床)の変更は予定せず。</li> <li>・地域に不足する回復期病床について、病床の配分があれば増床も検討したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期における重症度、医療・介護の必要度は低下傾向にあるが、救急については高齢者の割合が高くなっており、救急の必要度の高い救急患者の受入を進める。                      ※承継後の救急受入は増加(R4年9月102件⇒R5年9月127件で前年比+24%)。</li> <li>・一方、救急の必要度が比較的低い高齢者については、地ケア病床での受入を進めることで、必要度に応じた対応を進め、増加する医療需要への対応を図る。</li> </ul>			